

# いないいないばあ

- 平成 29 年 春号 -

● 発行元 ●

日本赤十字社富山県支部受託  
**富山県立乳児院**  
富山市牛島本町2丁目1番38号  
電話 076-432-8137  
FAX 076-432-8238



## 乳児院周辺には

新年度が始まりました。4月の児童数は

12名と少なくなりましたが明るいにぎやかな声が響き、子どもたちはますますのびやかに過ごしています。これからの季節、子どもたちは戸外に出て過ごすことも多くなり、よく散歩にでかけます。その散歩コースを少し紹介します。

乳児院周辺の公園や堤防には多くの桜が植えられており、まだ若木の桜もありますが、一斉に咲き誇る華やかな様につられてか散策する多くの人を見かけます。

今は、花吹雪の後の新緑が鮮やかです。ビニールシートで自然の滑り台も楽しめます。また、3月に富山県美術館の一部が、4月29日には屋上庭園「オノマトペの屋上」がオープンします。「ふわふわ」「ぐるぐる」「ひそひそ」など8つの擬音語・擬態語を体験できる遊具が置かれます。子どもたちのキラキラ楽しい散歩が増えそうです。



## みんなの思い出



3月3日は、ひな祭り(^ ^♪

あかりをつけましょ～ぼんぼり♪に…と、毎日練習した歌や踊りの本番の時がやってきました。毎年参加して下さるボランティアの皆さんと一緒に“ひな祭り会”をしました。人形劇を見たり、みんなで歌を唄ったりしてから、桜餅をいただきました。子どもひとり一人が、ボランティアさんに桜餅をお運びしました。

お盆から桜餅を受け取ったボランティアさんから「ありがとう」と言っていたき、うれしい・はずかしい笑顔の子どもたちでした。最初は少し緊張していた子どもたちも、会の終わり頃には、ボランティアさんとすっかり仲良しになっていました♡



## これからの行事

5月

### 春の遠足

リュックを背負って水と  
うを持ってバスに乗って  
おでかけします。



7月

### 七夕

短冊にお願い事をかいて  
みんなできらきら星  
をうたいます♪♪♪

## 新しい絵本棚と

## オムツ交換台がきたよ

新しい絵本棚はキノコの形を開いた可愛らしいデザインです。子どもたちは絵本が大好きで、自分で読みたい絵本を自由に選んで楽しそうに見ています。読み終わったら棚に戻す子どももいて、成長を感じます。絵本棚には玩具を入れるスペースもあり、今子供たちに大人気のウルトラマンのソフビ人形を入れたり、おままごとの野菜や果物を入れてお店屋さんごっこをしたりして楽しく遊んでいます。  
新しくなったオムツ交換台もこれから大活躍しそうです。





ふたのしじゅうせいのなうんいせいのせむいだ。

1月

- 草薙 真琴さん(東京都)
- 中田 渚さん(東京都)
- 眞鍋 加奈子さん(富山県)
- 渡部 啓司・恭子さん(愛媛県)
- 稲吉 庸子さん(東京都)
- 森崎 舞さん(東京都)
- 古屋 貴子さん(長野県)
- 中村 優希さん(東京都)
- 大野 和幸さん(富山県)

2月

- 門司 一徹さん(東京都)
- 稲吉 庸子さん(東京都)

3月

- 渡部 啓司・恭子さん(愛媛県)
- 金光 麻衣さん(埼玉県)
- 若林 朋子さん(富山県)
- 学校法人 全人学園 新庄幼稚園さん(富山県)
- 増澤 治美さん(福井県)
- 山崎 智恵美さん(新潟県)
- 田村 あいさん(神奈川県)
- 株式会社富山技販 代表取締役 松井 勝馬さん(富山県)

日本赤十字社

・富山県支部受付

4月

- ホトトトククラブ 京井 克幸さん
- 富山大学人間発達科学部 久保田 真功さん
- 一般財団法人 浅田慈善園さん

12月

- ホトトトククラブ 京井 克幸さん
- 富山大学人間発達科学部 久保田 真功さん

1月

- 本間 一正さん

「家庭がはぐくむ笑顔」

富山県では約80組のご家族が里親登録されています。里親家庭の子育てや思いを、里親さんの言葉で記していただきました。

●その15

私は子どもたちが成長したことを機に、里親登録しました。

登録後は、お盆やお正月に、児童養護施設で暮らす子どもたちを迎え入れ、生活体験するふれあいフォスターという事業にも参加しました。この事業に参加して、今まで20年程になります。

これまでいろいろな年代の子どもたちを受け入れてきましたが、最近年齢の高い中高生の子どもたちを受け入れることが多くなりました。そのくらの年齢だと、家庭生活を経験するというだけでなく、

施設を卒園し社会に出たとき自分を守るすべをできるだけ身につけておきたい頃だと思えます。例えば、健康管理という面から言うと、食事を作る経験は大切だと思えます。一回でも多く経験をすることで、一人暮らしになったときに、スムーズに取り組めると思えます。

我が家ではふれあいフォスター

で来る子どもたちに、冷蔵庫にあるもので、食事のメニューを考えることからさせています。自分が食べたものを作っているときは、どの子も一生懸命です。「大変だ」と言いながらも、とてもいい顔をしています。昨年末、以前にふれあいフォスターで出会って、現在は社会人として一人暮らしをしているAちゃんか



富山県立乳児院病児保育室『おひさま』は体調不良のお子様をお父さんお母さんに代わって、家庭的な雰囲気の中で保育します。



～富山県立乳児院 “病児保育室『おひさま』だより”～  
「元気にな～れ!!」

4月に入り手足口病で利用されるお子さんが増えています。おととしの流行後、去年は大きな流行とはならなかったので今後の動向が気になりますね。手足口病はその名の通り口の中や四肢等に水疱が生じる疾患で、夏風邪の一つといわれています。「あれ。お熱があるな、風邪かな？」と思われたら手足や口の中に発疹が出ていないか確認してから小児科を受診しましょう。

◀ **スタッフ日誌より**

- 新年度が始まり、「おひさま」も毎日お子さんをお預かりしています。
- 療養中のお子さんが落ち着いて過ごせる場、家族が安心してお子さんを預けられる場を提供できるよう病児保育室職員一同努めていきたいと思えます。
- 病児保育室「おひさま」では子育てや病気の時役に役立つ情報をポカポカ通信として発行しました。乳児院のホームページよりダウンロードが可能となっております。是非ご覧ください。

ご利用の際は、ご連絡ください。076-432-8137  
※夜間のため21時～7時30分までは、予約のお電話をご遠慮ください。

●利用時間 7時30分～18時

☆乳児院の理念☆ 児童福祉法及び児童憲章に基づき、安全で安心できる良質な生活の場を提供します。